

長崎市第五次総合計画・第2期長崎市教育大綱（令和4年度～）

「G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」 ☆2025年に目指す姿

☆子どもが、長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を生き抜く力を身につけている。

G1-1：確かな学力の向上

☆子どもが、自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身につけている。

G1-2：健やかな心と体の育成

☆子どもが、長崎を愛し、やさしく、たくましく生きるための豊かな心や体力を身につけている。

G1-3：家庭・学校・地域の連携による教育の充実

☆子どもが家庭、学校、地域の連携によって健やかに育っている。

G1-4：安全・安心に学べる教育環境の整備

☆子どもが、安全・安心な環境で学んでいる。

〈成果指標〉

- ◆夢や目標を持っている小中学生の割合
- ◆長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きだと思っている小中学生の割合
- ◆地域の行事に参加している小中学生の割合
- ◆ICTの活用によって、学習に取り組む意欲・態度が高まった小中学生の割合

【学校教育目標】

「自分・人・ふるさとを愛し 新たな時代を生き抜く 児童生徒の育成」

〈めざす児童生徒像〉

(G1-1, 2)

「新たな時代を生き抜く  
知・徳・体」

- 頭が元気な児童生徒（知）  
自分の課題に気づき、考え、表現・対話・協働・判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身に付けた児童生徒
- 心が元気な児童生徒（徳）  
人や自然、ふるさとの良さに感動し、やさしく、たくましく生きる豊かな心を身につけた児童生徒
- からだが元気な児童生徒（体）  
健康安全（食事・睡眠）を心がけ、心身を鍛える児童生徒

〈めざす学校像〉

(G1-4)

少人数だからこそ  
「個が生きる学校」に

- オンリー1を大切にする学校  
安全安心な環境の中で、地域の宝である一人一人の児童生徒を理解し大切にする学校。
- チーム学校  
保護者・地域・外部人材・関係機関が一つのチームとなって、児童生徒に豊かな学びを提供できる学校
- 9年間で伸びる学校  
小中が連携し、系統的な学びを行う学校

〈めざす教職員像〉

(G1-3)

「子どもを中心に添え、  
伸ばすことを第一に」

- 慈愛と魅力に満ちた教職員  
優しさと厳しさを持ち、児童生徒と共に笑い、感動し、笑顔で寄り添う教職員、そのために、ワークライフバランスを意識し、実践できる教職員
- 使命感とやりがいに満ちた教職員  
自分の仕事の意義を自覚し、自分の仕事（授業・分掌など）で勝負する教職員
- 周囲の信頼に満ちた教職員  
こどものために、職員同士、家庭や地域と進んで連携・協力し、教育公務員としての自覚に満ちた職員

重点取組み ※SWOT 分析で出たアイデアは朱書き

＜重点1＞ 頭が元気な児童生徒を育てるために（学力）（G1-1 確かな学力の向上）

（小中連携）

- ・9カ年を見通した教育課程の実施
- ・小中学校の連携強化（遊ぶ・食べる・学ぶ・縦の交流）

（各教科の授業にかかわること）

- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業の創造
- ・個に応じた課題、個別最適化した学習
- ・対話的な学習（協働的な学び）、教師との協働（子どもと教師が仲良く）
- ・読解力の育成☆ 新聞の活用、教科書の本文の読み取り

（一般的な学習指導）

- ・授業におけるGIGAスクール構想に基づく積極的・効果的なICTの利活用
- ・AIドリル（キュピナ）の活用
- ・個人カルテの作成・活用（学力テストの早期の分析・評価・対策）
- ・表現力育成の工夫と充実（授業・学校生活全体・行事の場）
- ・校外学習・広い世界を知る。

キャリア教育の充実

- ・社会的自立に必要な力 人間関係形成・社会形成能力 自己理解、自己管理能力  
課題対応能力 キャリアプランニング能力

＜重点2＞ 心と体が元気な児童生徒を育てるために（G1-2 健やかな心と体の育成）

（子どもの活動）

- ・基本的生活習慣の確立 あはは運動 **あいさつ（一点突破）**
- ・小中共通の心得

（職員の活動）

- ・道徳教育研修の充実（人・自然・文化の良さを実感：道徳的価値を理解、心情・態度の育成）
- ・人権教育の充実「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める」
- ・生徒指導の充実「させる」生徒指導から「支える」生徒指導へ：新しい生徒指導提要
- ・地域人材の活用
- ・体育学習の充実（あじさいスタンダード（体力づくり編）の利用）
- ・新型コロナウイルス予防（マスク・うがい・手洗い・換気）
- ・健全な心身を養う食育と睡眠教育の推進
- ・身体を動かす外遊びの奨励

＜重点3＞ G1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実

- ・情報の共有、共通理解、共通実践の徹底（報告・連絡・相談）
- ・学校評価の分析結果を踏まえた積極的改善
- ・PTA、育成協等の地域行事（ペーロン、もちつき等）への積極的参加
- ・保護者及び関係機関との連携・連絡調整（「よくわかる伊王島小中学校」の活用）
- ・保護者や地域の人との活動・対話・学習。
- ・外部人材との交流。他校との直接的な交流。
- ・ふるさとの良さを知り、地域・保護者・観光客に発信する。

**<重点4> G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備**

- ・校内外の安全確保と危機管理体制の確立と対応
- ・小中学校合同集団登下校の奨励
- ・安全点検の確実な実施と事後対応
- ・危機管理マニュアルの更新（年1回）
- ・地域との連携による見守り活動

**<重点5> 教職員の働き方改革**

「あすかぶた」合わせる 捨てる 簡単にする 分担する 頼む

- ・校務支援システムの積極的な利用
- ・適正な校務分掌の分担
- ・年5日以上、アニバーサリーの年休取得
- ・早めの起案（会議時間の短縮）
- ・月45時間以内の時間外勤務
- ・学校行事，日課表，職員会議の見直し
- ・定時退校日の設定と確実な実施
- ・職員案における取組

**<重点6> 教職員の資質向上**

- ・事例研究（こんなときどうするシートの活用）
- ・職員校内研修の充実（特別支援教育 学力向上 GIGA AIドリルの活用・・・）